

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家さいじょう館			
○保護者評価実施期間	2026年 10月 5日		～	2026年 10月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	12
○従業員評価実施期間	2026年 10月 5日		～	2026年 10月 9日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 10月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援環境の整備とバリアフリー対応	整理整頓を徹底し、安全な環境を確保。バリアフリー化を進め、特別支援学級や市の学校児童の利用時間帯に合わせてスペースを確保している	2階にある事業所のため階段移動はあるが、手すりを設置し安全面を維持しつつ、利用児童の人数や特性に応じて動線を意識した快適なスペース確保を行う
2	情報発信と保護者とのコミュニケーション・相談対応	日々の様子や活動予定をブログやInstagramで発信。連絡帳や面談等を通じ、保護者との信頼関係構築や丁寧な状況伝達に努めている。	言葉だけでは伝わりにくい情報はメールなどの文章で伝達・確認し、個人情報の取り扱いに留意しながら情報共有を継続・強化していく。
3	安全管理体制と各種マニュアルの策定・訓練実施	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルやBCPを策定・整備し、年間4回の避難訓練やヒヤリハット・虐待防止の研修を定期的に実施	今後も非常災害や事故・感染症等を想定した実践的な訓練を継続し、職員一人ひとりの安全意識やスキルアップを図り、確実な安全管理を徹底する

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域・外部機関との交流や連携の機会不足	放課後児童クラブ・児童館・地域の子どもの交流や、スーパーバイズ・研修を受ける機会が少なく、地域との連携機会が限られているため。	地域との交流や行事への案内・参加の機会を増やせるよう検討し、外部専門家によるスーパーバイズや研修等の積極的な導入・連携を進める。
2	保護者同士の交流機会や家族支援プログラムの実施不足	夏祭りやイベント等への参加率が伸び悩んでおり、保護者会やきょうだいの向けイベント等の開催・交流の機会が十分に提供できていないため。	イベントや行事への参加を促す工夫や日程調整を行うとともに、保護者同士が悩みや情報を共有できる交流・研修の場を企画・提供していく。
3	職員間での計画書・目標の共有および意思決定支援の工夫	日々の業務やミーティングにおける全職員への周知・共通理解の徹底や、児童の自己決定を促す視覚的支援・工夫にまだ改善の余地があるため。	前日の振り返りやミーティングを通じた全体周知を徹底し、児童が自分で選択・決定できるよう視覚的支援カードの作成・工夫をさらに進める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 さわやか愛の家さいじょう館

公表日 年月日

利用児童数 14名

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2	0	0	整理整頓されていると思います。	引き続き、確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	0	0	回答なし	今後も職員一同で対応させていただきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	1	1	危険のものは収納されており、安全な環境だと思っています。 事業所が2階にある為	2階にある事業所ですので階段がありますが、手すりを設置しています。室内に段差はありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	11	1	0	0	回答なし	今後も快適に過ごせるようにこまめな清掃を心掛けていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	0	子どもの様子をしっかりと観察してくれ、臨機応変に対応してくれています	今後も特性等を理解出来るように努めて専門性のある支援をしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	0	0	回答なし	支援プログラムと支援内容があっているように努めて参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1	0	0	回答なし	今後も関係機関の皆様と連携を図り、課題に沿った支援計画を作成して参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	0	0	回答なし	児発管を中心として、職員と話し合っ支援計画を作成します。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	その様子に応じた支援をしてくれています。	SSTを通して支援の際に使用しております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	1	回答なし	今後も児童様の要望に添えるように努めて参ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	1	5	回答なし	地域との交流の機会が持てるよう検討します。
保護 者へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	1	0	回答なし	ご不明な点等ございましたら、その都度ご連絡いただければご説明させていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0	回答なし	今後ご家庭でのお困りごとやご相談がありましたら、お気軽にお申し付けください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	4	1	5	回答なし	イベント時、保護者様の参加は継続して行なってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	0	0	勤続年数の長いスタッフは細かく説明してくれていますが、若いスタッフさんはこちらが聞かないと話すことはないです。	今後も保護者様と密にやり取りをし些細な事で情報提供を行い、支援につなげていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0	回答なし	困りごとなどございましたら、いつでもご連絡ください。ご家庭で役立つ支援方法をお伝えさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1	0	0	暑水ペーパーでてる坊主も作らせてくれてありがたかったです。	引き続き、共感的な支援に努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	1	3	回答なし	今後も保護者同士で交流が持てるように取り組んで参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	1	1	回答なし	現状を継続し、職員間の連携を強化していきます
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	0	回答なし	いつでもご相談して頂ければ、対応致しますのでご連絡ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	0	1	いつも拝見しています。	ブログ、インスタグラムなどで掲載して、日々の活動をお知らせしているので、引き続き行って参ります。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	1	回答なし	個人情報保護のための基本方針(プライバシーポリシー)を定めております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	1	回答なし	事業所内に設置しておりますので、ご来館の際にご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	0	回答なし	避難訓練は年に4回必ず実施しております。日々の活動にとりいれております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	回答なし	今後も安全管理の徹底を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	1	回答なし	今後も速やかな連絡や状況の説明を行っていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	1	回答なし	今後も安心感を持ってもらえるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	3	0	0	回答なし	今後も通所を楽しみにしてもらえるよう一層工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	0	回答なし	今後とも支援に満足していただけるよう職員全員で努めて参ります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		年 月 日	
さわやか愛の家さいじょう館					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	特支児童、市の学校児童の利用時間帯に合わせて、スペースを確保している	利用時間帯の個人に合わせてスペースが確保出来るようにその日のスケジュールを確認しておく
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	適切である	その日の利用定員及びこどもの状態に対して職員の配置数が適切であるかをミーティングで確認しておく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	バリアフリー化できている	設備的には、バリアフリー化はされているが、利用児童人数と特性に応じて動線に合わせてスペースを確保する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	心地よく過ごせるように清潔を心掛けている	毎朝、デイ室、トイレ、車内等を清掃し、静養室のベッドカバーも洗濯をするなどし、児童が心地よく過ごせるようにする。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じて出来ている	宿題・横になる・個別活動等それぞれ個々に行う場所の確保をする
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	必要に応じて出来ている	毎日のミーティング、活動等の担当職員の計画案の確認、前日の振り返りを行い全職員で周知する必要がある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	業務改善につなげるようにしている	必ず、評価表に目を通し保護者様の意向等を真摯に受けとめ業務改善に繋げていけるよう職員間で話し合います
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	把握する機会を設けている	必ず、日々のミーティングを通して困り事などが話せるようにし意見交換をした上で改善に繋げていきます
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	第三者による外部評価を行っている	第三者による外部評価を設け評価結果を業務改善に繋げていきます
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修の機会を確保している	定期的にスキルアップ研修が開催される為全職員が必ず参加し資質の向上を図る必要があります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	適切に作成されている	適切に支援プログラムを作成し公表されるようにします
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	適切に行っています	子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析するスキルを持ってアセスメントを適切に行うようにします
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	支援者会議を適切に行っています	放課後デイサービス計画作成にあたりモニタリング表・アセスメント・原案表を児童が中心で作成はするが見直し支援会議を必ず行うようにして検討をしていくようにします
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画に沿った支援を行っています	支援計画作成にあたり、必ず職員間で支援会議を行い、共有し、計画に沿った支援を行っています
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	アセスメントシートに記録しています	毎日記録しているサービス提供記録を元に、アセスメントシートに記録していきます
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	支援計画に、「放課後デイサービスの提供すべき支援」のそれぞれの支援のねらい及び内容を踏まえながら、設定し具体的な支援内容を設定するようにしています	支援計画に「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえた上でこどもの支援内容を具体的に設定するようにします
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	チームで行っています	活動プログラムの立案はチームで行い共有していきます
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	日々、活動の振り返りを行い、次の活動につなげていくようにしています	毎日の活動担当を決めて、計画書をそれぞれに立てて職員間で意見交換をして固定化しないようにしていきます
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	日々、個別活動は担当者を決めて行っており、集団活動も個々の特性を踏まえて計画を立てています	事前に、月毎に活動予定表を保護者様に配布した上で、具体的な活動内容は、子供の状況に応じて個別活動と集団を活動の内容を考慮した計画を作成し、支援を行うようにします

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	日によって、当日ミーティングが難しい場合があるが、事前に分かっている時には、前日の支援後に打ち合わせをするようにしています	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行う意識を持ち、日によって当日ミーティングが難しい場合は前日の支援後に打ち合わせをするようにします
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	祝日、長期休みの時は支援終了後にミーティングをおこなうことができますが、普段日は送迎後にするのは難しいため、午前中に打ち合わせをしています	祝日、長期休みの時は支援終了後に振り返りを行えるが、普段日は難しい為、午前中にミーティングを行い前日の支援振り返りを必ず行います
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	記録をとり支援の振り返りをして、改善につなげています	記録を取り、日々の支援の検証改善につなげるようにします
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています	定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しを適切に行っています
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	5	1	「4つの基本活動」を組み合わせた支援を行っています。	地域交流や活動はできているが、多様な遊びや体験は難しいので今後取り入れていきたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	視覚的な支援カードの作成を行い、口頭ではなく自分で選択できるようにしている	工夫しているが、十分ではないので自己決定をする力を育てる支援をしていきたい
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者、児童発達管理責任者を中心に他職員全員が参加し支援会議を行っています	関係機関との会議には管理者や児童発達管理責任者が参加していますが、サービス担当者会議には全職員で参加するようにしていきます
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	支援を行う体制を整えています	難しいところがあるので、今後連携していきたい
関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	適切に行っています	年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認後、学校との情報共有や送迎時の対応トラブル発生時の連絡を全職員と共有するようにしていきます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	情報共有と相互理解に努めています	今後も、情報共有と相互理解に努めていきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	相談員さんを介して情報を提供できるよう心掛けている	まだ学校を卒業して障害福祉サービス事業所などへ移行することがありません
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	学校とのケース会で、スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けています	連携はとれているが研修は受けてないので今後取り入れていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	地域の児童との交流はないがボランティアの方達に訪問してもらう機会を設けている	特に行っていないので機会を作りたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	機会があれば積極的に参加したい	機会がありませんのであれば参加したい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	こどもの発達状況や課題について保護者や職員で共通理解を持つようにしています	日々のミーティングを通して、子どもの発達の状況や課題について保護者の思いも含めて職員間で共通理解を持つようにします
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	機会を作ったり、情報提供等行っていきます	家族等の参加できる研修の機会を設けるよう今後行っていきます
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	文章、書面にてまたその説明として口頭で説明しております	今後も文章、書面にしてまた、その説明として口頭で説明して行っていきます
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	支援計画作成にあたり、保護者、本人の意思と意向を確認する機会を設けています	支援計画作成にあたり、保護者様には事業所に来ていただけるご都合の良い日時を確認した上で面談を実施し、ご家族や子どもの意向をお聞きするようにしています
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	支援内容の説明を行い、同意を得ています	今後も支援内容の説明を手厚に行い、同意を得るようにします
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	行っています	家族様からのご相談に関して適切に応じ、面談を行った後、必ず職員間で情報共有します
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	夏祭りやイベントへの参加をお声がけ、案内しているが参加率が少ないため、今後も努めていきます	夏祭りや行事への参加のお声掛けをしていますが、不十分と思われる為、機会をふやしていきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速かつ適切に対応しています	苦情を真摯に受け取り、対応方法その後の経過を本事業所職員だけでなく、サブマネ等にも情報共有して、広い視野を持って対応していきます

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログやInstagramで発信しています	今後も月初めには翌月の活動予定表と予約票を配布し、その日の活動の様子を毎日ブログにアップし、定期的にInstagramで発信するようにします
	43	g	6	0	十分留意しています	個人情報の取り扱いには十分留意することを日頃から職員間で意識して行っています
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	配慮をしています	言葉だけでは伝わり難い場合は、メールなどの文章で伝達し確認するようにします
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	5	1	ボランティアの方を招いて児童達と交流しています	相談員さん等には、行事へのご案内をしますが、今後地域の方にもご招待していきます
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	いろんな発生を想定した訓練を定期的に行っています	今後も事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル等を策定し、職員やかぞく等に周知すると共に発生を想定した
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、定期的に訓練をしています	業務継続計画(BCP)を策定すると共に非常災害の発生に備え、定期的な訓練の必要性を重視し行っています
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	事前に確認しています	保護者様から事前に、服薬や予防接種てんかん発作等のこどもの状況を確認するようにします
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者から、面談を通して、記録に残しています	契約する時点でアレルギーについてアセスメントをしておき、その後も定期的に確認し、おやつ、食事などの提供に関しては注意していきます
非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画の作成を基に支援しています	安全管理が十分された中で支援が行われるよう、安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じるようにします
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	ご家族様へ周知しています	安全計画に基づく取組内容をご家族様に周知し子どもの安全確保に関してご家族様と連携を図っています
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットを定期的に記録し再発防止に向けて検討しています	ミーティングを行った際、危険なことを職員間で共有しその都度ヒヤリハットを記入しています
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修会を定期的に記録し、再発防止に向けて検討しています	研修を受けて職員一人ひとりスキルアップを目標とし、虐待を防止できるよう知識をつけています
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	支援計画の中に、記載しています	保護者様に事前に十分に説明を行い了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載を行っております